

# 学校だよ

佐賀県立鹿島高等学校

赤門学舎 (旧鹿島高等学校)

大手門学舎 (旧鹿島実業高等学校)

題字: 書道科担当  
山田 千鶴

第3号  
(2020. 7. 27)

## 人権・同和教育HR



6月15日(月)6時間目に、人権・同和教育のHR活動を行いました。1年生は「スマホ・ネットでのいじめについて考えよう」、2年生は「インターネットと人権問題について考えよう」、3年生は進路保障の学習も兼ねて「統一用紙の精神に学ぶ」というテーマで、「差別」や「人権」について学習しました。

1、2年生は、自分たちの生活に欠かせないスマートフォンやインターネットに潜む危険性について考えを深め、3年生は履歴書や面接の内容に答える際は「統一用紙」の精神に則って自らの人権を守ることの重要性を学びました。いずれにせよ、普段気にも留めていないような言葉や態度が、時に自分や他人を傷つけるものであるということを再確認できたのではないのでしょうか。自分や他人を大切にしながら楽しく充実した学校生活を送って行ってほしいと思います。



## 地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト

6月19日(金)6、7時間目に、「地域とつながる高校魅力づくりプロジェクト」の一環として、高校1年生を対象に7分野の講座を開きました。鹿島市職員の方々を各講座の講師としてお招きし、生徒たちは6時間目と7時間目に異なる分野の講座を1つずつ受講しました。この講座は、生徒たちが自らの将来について考えたとき、社会とどのように関わり、その諸問題をどのように解決していく



かという観点を育てることを目的としています。

知っているようで知らなかった「鹿島」の魅力や特性に耳を傾ける一方で、「鹿島」の問題点を解決するにはどうしたらよいかと話し合う場面も見られました。この講座をきっかけとして、自分自身や「鹿島」について深く知るとともに、広い視野を持つことができるようになることを願います。



### 【講座内容と講師陣】

みなさん、  
ありがとうございました

- |       |                    |
|-------|--------------------|
| ①地域経済 | 柴田 智典 様 (企画財政課)    |
| ②国際関連 | 木原 智典 様 (商工観光課)    |
| ③医療福祉 | 松本 慎喜子 様 (保健師)     |
| ④環境生活 | 江島 美央 様 (ラムサール推進室) |
| ⑤社会文化 | 江島 賢一 様 (生涯学習課)    |
| ⑥科学技術 | 橋川 宣明 様 (環境下水道課)   |
| ⑦食文化  | 寺尾 和士 様 (産業支援課)    |



## 公開授業

6月23日(火)の2、3時間目に、高田陽子教諭と松尾幸代教諭による家庭科(調理実習)の公開授業を行いました。真っ白な実習着に身を包んだ1年6室の生徒たちが大手門学舎の専門調理室で、先生方の指導を受けました。



まず、2時間目に外部講師の高橋進一郎先生(武雄市「皇月庵」オーナーシェフ)の示範を受け、その後



3時間目に実習を行いました。1年生にとって2回目の実習であり、まだ慣れない様子でしたが、一生懸命に取り組んでい

ました。今回の実習では、調理法を教わるだけでなく、作業の流れや段取りを頭に入れて効率よく行うことや衛生面を考えて調理器具の片付けを並行して行うことなども学びました。

今後も、1つ1つの実習を通して専門的な知識や技術を身につけ、自身の進路実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。



〈ひじきご飯ときゅうりのみぞれあえ〉

## 紹介

「全日本書道教育振興協会」の会報(第4号)に、本校書道部の記事が掲載されました。



く、書道パフォーマンスなどの団体の活動にも力を入れています。近年では、学校の文化祭に加え、小学生参加型の書道パフォーマンスや佐賀県本丸歴史館での二ノ江ランドとの交流事業、地元広報誌の題字揮毫など活動の幅を広げています。

本コンクールは一年間の集大成と位置づけ、生徒達にとっても思いの強い大会になっています。指導をしている者としても、自身の高校時代が鮮明に思い出される大事な大会です。一つの古典を極める良さも勿論ありますが、吸収力の極める大切な時期に様々な古典と巡り合う機会を与えてくださる本コンクールは、生徒達に改めて書道の魅力や奥深さを感じさせてくれるものと思います。昨年度優秀校に選んでいたことから、一年間、個人においても団体においても、それぞれの生徒が明確な高い目標に向けて取り組んでいました。

その強い気持ちには日頃の習動や、練習風景にも現れ、二年生が一年生の作品を添削する姿や、筆を持つ時間と同じく、いろいろな作品やノートを見て考える時間が多くなったように思います。授業においても一年間の授業の中で扱って

きた古典の中から好きな古典を選択し、その制作や、臨書を活かした創作など工夫しながらも楽しんで取り組んでいる姿が印象的でした。

今後も授業や部活動を通して、生徒達が生涯書道を続けていきたいと思えるような指導を心掛け、生徒とともに二人三脚で書道を楽しんでいけたらと思います。最後になりますが、同じ志を持つ全国の生徒が出品される本コンクールの益々の御発展を祈念し、本コンクールに携わられる全ての方に心より感謝申し上げます。



鹿島高等学校 3年 副島 海美さん

本大会は他の大会とは違い、私自身、複数作品を出品する中で一枚一枚に求める質の向上に悩み、去年は後悔の残る結果となりました。しかしながら今年、去年の大会を経験したメンバーが筆頭となり、経験を活かしたアドバイザーをお互いにするなど、個人の目標を持ちながらも団体としての意識を強く持った取り組みができました。

このような取り組みができたのは、昨年のこの大会から一年間、部員それぞれが自身の得意とする書風以外にも目を向け、自分の可能性の幅を広げようとする姿勢があったからだと思います。またそれだけでなく、書道パフォーマンスなどによる団結力の向上も理由の一つだと感じます。自分の目標を達成したというのは勿論ですが、他の部員が一人でも大賞に輝いてほしいという思いを全員が持っていたと思います。

この大会を通して、私たちの書への思いや仲間への思い、支えて下さっている先生や家族への思いというものがより強くなっているように感じます。私たちが成長できているのも、この大会のおかげです。本当にありがとうございます。

## SAGA 2020 SSP杯佐賀県高等学校スポーツ大会 結果

- ・レスリング(男子) …学校対抗戦 準優勝
  - 個人対抗戦 55kg級 第3位 増山 晴空(1-6)
  - 60kg級 第3位 宮崎 海斗(1-5)
  - 65kg級 第2位 石橋 航希(2-7)
  - 71kg級 第2位 淵野 結生(2-7)
- ・バレーボール(女子) …準優勝
- ・ソフトボール …準優勝
- ・弓道(男子) …団体 準優勝
- ・テニス(男子) …個人シングルス ベスト8 下田 琉生(3-1)、成松 駿一郎(3-2)
- 個人ダブルス 第3位 溝口 雄真(3-1)・成松 駿一郎(3-2)
- ・ソフトテニス(女子) …団体 第3位